

兵庫県立福崎高等学校
図書だより



2024年 7月号

読書感想文コンクールについて

【応募要項】

1. 対象図書 ①自由図書(教科書、雑誌、パンフレットなどは含まない)
②課題図書(先月の図書だよりで紹介済み。図書室にあり)
2. 用紙・字数 ①400字詰めA4原稿用紙に縦書きで自筆。
②2000字以内。
③原稿用紙の1枚目から本文とし、枠外に題名と名前を記入。
3. その他 ①個人のオリジナルで未発表の作品。他の類似コンクールとの二重応募は不可。
②提出は、8/19(月)までに、図書担当の先生まで。
③校内で多数応募があった場合、校内審査のうえ、提出します。

今年度は、希望者のみ参加とします。

1・2年生だけでなく、3年生でもぜひ、応募してください。

自分の言葉で書いた読書感想文をコンクールに出してみませんか？



強制的な読書感想文の提出はありませんが、時間がとりやすい夏休みこそ、

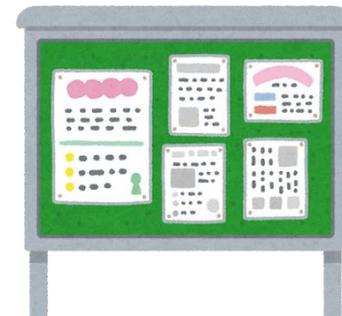
自分が興味を持っている分野の本に触れる
ずっと好きな本を改めて読んでみる…など

本を身近に置いてみてください。

図書室に来る生徒の中には、「この本のタイトルが面白い!」というちょっとしたきっかけから本を借りていく生徒もいます。1・2年生には、この図書だよりと同時に、本の紹介冊子も配布しますので、「夏のおとも」探しの参考にしてください(予備が図書室にあるので、3年生もよかったらどうぞ)。

ちなみに、

読書感想文だけでなく、さまざまな作品や大会参加などの募集に関するポスターを昇降口から保健室に向かう掲示板と、図書室に向かう掲示板に貼っています。



ボランティアも含め、興味のあることや進路に関わることに参加・チャレンジするのもいいですね!

夏休み中の図書室の開室予定、本の貸し出しについて

開館時間	月	火	水	木	金
13:00~ 14:00	×	×	7/17	×	×
	7/22	←=====→			7/26
	7/29	←=====→			8/2
図書室の整理のため休室					
9:00~ 13:00	8/19 感想文 締切	×	×	×	8/23
	8/26	←=====→		8/29	×

補習に来たついでに
ちょっと寄ってみて!

- ① 7・8月に貸し出した本は、9/4まで借りることができます。
- ② 長期休業中に限り、5冊まで借りることができます。
- ③ 開室日・時間は予定です。休室になることがあります。

【図書委員からのおすすめ本 その3 3・4組編】

『**虚構推理**』 城平京 著 (3-3図書委員 Tさんからのおすすめ)

〈あらすじ〉 片目と片足を妖たちに捧げることで知恵の神となった琴子が、いろいろな事件を虚構だけで解決していく。

〈おすすめポイント〉 様々な難事件を虚構だけで解決していく琴子の姿は本当にかっこいいです。また事件を解決していくかっこいい姿とは真逆の、片思いの相手にめげずにアタックしていくかわいい琴子の姿も見られます。

『**あの花が咲く丘で、また君と出会えたら**』 汐見夏衛 著

(3-3図書委員 Sさん・3-4図書委員 Nさんからのおすすめ)

〈あらすじ〉 1945年第二次大戦末期の日本にタイムスリップした、現代の女子中学生・加納百合と、特攻隊員の青年・佐久間彰との時空を超えた切ない恋の物語。

〈おすすめポイント〉

・今までは何もかもにムカついていた百合が、タイムスリップすることで戦時の生活の大変さなどを体験して、今まで自分の生活がどれほど幸せだったか、また周りの人への感謝の気持ちが芽生え、特攻隊員である彰と過ごしていくうちに、どんどん変わっていく百合の心の成長が読んでいておもしろかった。(Sさん)

・映画化され、とても話題になったが、映画の中では明かされていない部分をたくさん知ることができます。内容的には難しく考えずに、戦時中のことや特攻隊について知ることができます。大事な人がいなくなることを前々から知っていても止めることができな悲しさなどがあり、自分も大事な人としてしっかり過ごして後悔しないようにしようと思わせてくれます。(Nさん)

『**ぎんなみ商店街の事件簿 Sister編・Brother編**』 井上真偽 著

(1-4図書委員 Kさんからのおすすめ)

〈あらすじ〉 ぎんなみ商店街でおこる様々な事件を解決しようと三姉妹と三兄弟が動くが…

〈おすすめポイント〉 Sister編・Brother編で事件は同じだが、真相や犯人が変わる不思議な小説です。

『**薬屋のひとりごと**』 日向夏著 (1-4図書委員 Fさんのおすすめ)

〈あらすじ〉 大陸の中央に位置する、とある大国。その皇帝のおひぎもとにその娘・猫猫(マオマオ)はいた。花街で薬師をやっていたが現在、後宮で下働き中である。決して美人とはいえぬその娘は、分相応に何事もなく年季があけるのを待っていた。まかり間違っても帝が自分を「お手付き」にしない自信があった。そんな中、帝の御子が重い病と聞いた猫猫は、その原因を調べ始める。

〈おすすめポイント〉 大絶賛されたあの痛快ミステリー。中世の東洋を舞台に、「毒味役」の少女が宮中で起こる難事件を次々に解決する。

『**孤独にやられそうなときに読む100の言葉 悩みながら生きていく**』 ニャン著

(2-4図書委員 Iさんからのおすすめ)

〈あらすじ〉 作者が語る孤独との付き合い方を本にし、生きていくための勇気とヒントをくれる100の言葉。

〈おすすめポイント〉 弱さこそが真の強さだと改めて実感し、当たり前のようなことのプラアルファの話に気づきがあったりして心に残るような作品です。

『**羊と鋼の森**』 宮下奈都著 (3-4図書委員 Kさんのおすすめ)

〈あらすじ〉 主人公の外村は高校生の時、あるピアノの調律師と出会い、運命がかわった。その人が調律すると世界が変わったように思えたのだ。それ以来、調律師のことを忘れられず、弟子入りしてまで自らも調律師を目指すことに。ひたすら音と向き合う外村だったが、課題は山積みで…。

〈おすすめポイント〉 ピアノに興味もなかった青年がピアノに惹かれ、調律師になる物語。「どうしたら調律がうまくなるのか」をいつも考えているけど、いまいちコツがつかめずにいる。そんな発展途上なモヤモヤを抱えた描写がとてもリアルで共感できます。丁寧な文章で書かれていて、とても読みやすい作品です。



自分の視野や可能性が広がる夏休みになりますように。